



独立行政法人福祉医療機構
社会福祉振興助成事業

WAM 2020年度 事業報告

多文化子育て

応援ネットワークづくり



NPO 法人 シェイクハンズ

目次

目次	1P
はじめに	2P
柱立て1 日本語・学習支援の場「寺子屋」と社会体験の場づくり	3P
成果と課題	4P
柱立て2 多文化子育てサロンと「多文化子育て応援ブック」(仮称)の作成	5P
犬山市と小牧市での親子サロン	6P～8P
江南市での親子サロン	9P～11P
岐阜県可児市及び近郊での親子サロン	12P～13P
三重県四日市市での親子サロン	14P
柱立て3 多文化子育てネットワークづくり	15P～17P
柱立て4 多文化子育て応援のための研修会	18P
これまでの思い出	19P～20P

はじめに

これまでの背景から

私どもシェイクハンズが、多文化背景にある子ども達の日本語・学習の応援を始めて、14年が過ぎようとしています。

長い間、日本語・学習支援をしてきて、特に外国に繋がる子どもの学力について、成績の改善が現われにくく、それが負の教育の連鎖にも繋がる現状があります。それは、学齢期に至るまでの日本語・生活環境に問題があり、小学校入学時に、言語・精神面の発達にすでに格差がつき、学校生活の入り口での躓き、その後の将来にも影響を及ぼすと考えられます。特に散在地域といわれる尾張北部地域は多文化施策進捗が遅く、多くの子育て支援策があっても外国人には届かず、セフティネットから洩れてしまう現実がありました。そこで、社会からの孤立・情報の不足・日本語習得不足などを補い、加えて交流の中で、安心して子育てができ、安定した教育環境が得られるよう、乳幼児から学齢時までの継続的な支援の必要性があると考えました。

また、尾張北部地域での外国人の増加や、多様な困難を抱える子どもの急増があり、居場所や学習支援の場が、特に必要となってきています。今年度、1ヶ所の増設を計りました。

2019年度より、(独法)福祉医療機構の助成を頂いて励んできた、多文化子育て応援ネットワークも地域を拡充しました。効果的な多文化子育て支援を目指し、情報やノウハウの共有ができ、より広い地域でのサロンの実施となりました。

ここに、この1年間の記録を記させていただきます。

柱立て1	日本語・学習支援の場「寺子屋」と社会体験の場づくり
柱立て2	多文化子育てサロンと「多文化子育て応援ブック」(仮称)作成
柱立て3	多文化子育てネットワークづくり
柱立て4	多文化子育て応援のための研修会 (変更後)

2020年度事業報告として、本冊子を刊行させていただきます。

2021年3月末日
特定非営利活動法人シェイクハンズ

事業概要

外国に繋がる子ども達や多様な困難を抱える子どもに、教育格差をなくし、未来を広げるために日本語・学習支援の場をつくり、さまざまな体験活動もする。



実施日時 : ①2020年5月～2021年3月までの毎週水曜日・土曜日
放課後～21:00
②2020年7月～2021年3月までの毎週土曜日 10:00～

実施回数 : ① 85回 ② 35回

実施場所 : いぬやまの寺子屋 (犬山市大字犬山字東古券)
シェイクハンズ事務所 2階スペース

対象者 : 犬山市及び近郊の外国に繋がる子ども達をはじめ、多様な困難を抱える子、様々な理由から家庭での学習環境の整わない子ども達。

参加者 : 32名 (日本人21名 外国に繋がる子11名)
(小学生 18名 中学生 14名)

指導者 : 専従指導者2名、指導補助ボランティア2～3名

成果と課題

新型コロナ流行のために学校の休業が続き、開催時期が遅れ、また、予定していた会場が使えないなど、スタートは順風ではありませんでした。とにかく、体温計測・手洗い・消毒を徹底的に習慣づけ、3密を避け、換気を十分にしながら、「寺子屋」の場が開ける事が、まずの目標でした。「いぬやまの寺子屋」の参加の子ども達は、コロナ禍の影響で昨年度より少なかったですが、継続して参加の子どもも多く、欠席することがほとんどなく、常に落ち着いた雰囲気の中、しっかりと学習することができました。

「楽田の寺子屋」は、ほとんどが外国に繋がる子ども達だったため、秋ごろから職を失う家庭も出て、子ども食堂（いぬやまの寺子屋）やフードパントリーも行いながらの教室となりました。それでも、両教室とも欠席はほとんどなく、今年度も中学生は、全員望校に合格、公立高校志望者も全員入学をすることができました！

課題としてはやはりコロナ禍で、体験学習がほとんどできなかった事。保護者との懇談会も開催できなかった事があげられます。昨年経験した多文化体験キャンプや地域交流会も中止、「認知能力を高め、自ら学ぶ力の向上」の目標は、ほとんど達せられなかったが、「楽田の寺子屋」は会場が広いため、月に一度程度、造形などの美術活動や農園での体験ができ、モチベーションを保つことができました。「いぬやまの寺子屋」は会場が狭く、タブレットの学習ソフトにチャレンジしたり、読書をするのが精いっぱいでした。そんな中、ドイツの環境活動家が訪問してくれ、ドイツの暮らしぶりや環境対策について話してくださり、いい機会になりました。



いぬやまの寺小屋

楽田の寺小屋

事業概要

小学校入学時に言語や成長に必要な基礎能力において、すでに、差がつかせてしまっている状態の外国に繋がる子ども達。乳幼児期に、保護者がまず安心して子育てできる環境をつくり、子どもの成長に必要な能力の基礎を養う必要があると、考えます。

そこで、日常生活の中で、外国に繋がる親子と日本人との交流をつくり、子育てに必要な情報を伝え、助け合える関係性を育みながら、子育て・親支援の環境を整えることを目的に、複数の地域で、多文化子育てサロンを開催します。

成果

昨年までの協働団体に加え、今年度は、交流のあるNPO団体の活動地域である岐阜県可児市、三重県四日市市などの地域を加え、それぞれテーマを決め、子育てサロンを複数回ずつ協働開催しました。その内容や子育てに必要な情報を掲載した「日本の学校へ行く子どもと保護者のかたへ」「日本社会で子育てをする外国のみなさんへ」を多言語で作成しました。子育て中の不安を和らげるために各家庭に置いてもらい、また、日本語教室や子育てサロンに参加するきっかけにもなってほしいとの願いを込めました。

そして各団体が、就学前の子育て応援のノウハウを共に学べるように、各地でリレー開催になるよう、開催時期も考慮しました。台風などにより、多少の変更はありましたが、興味・関心あるプログラムに、それぞれが見学・ボランティア参加できたりし、各団体の刺激にもなったようです。

開催数	開催地						
	愛知県		岐阜県		三重県		
(31回)	犬山市	小牧市	江南市	可児市	御嵩町	四日市市	鈴鹿市
	(10回)	(1回)	(12回)	(4回)	(1回)	(2回)	(1回)

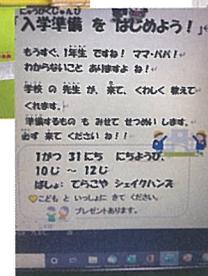


会場：寺子屋シェイクハンズ

	日程	内容	参加人数(組)
1	9月20日	ZOOMでこんにちは! 手遊びと絵本1	フィリピン1、日本3、中国2、 ペルー1、ロシア1、ブラジル1
2	10月4日	手遊びと絵本2	フィリピン1、日本1、中国2、 ペルー1、ロシア1
3	10月25日	エプロンシアター	フィリピン1、日本2、中国2、 ペルー1、ロシア1
4	11月15日	リズムで遊ぼう 1	フィリピン2、日本1、中国1、 ペルー1、ロシア1
5	11月29日	リズムで遊ぼう 2	中国1、ロシア1
6	12月13日	リズム&ダンス de クリスマス	フィリピン2、日本1、中国3、 ペルー1、ロシア1
7	12月20日	野菜スタンプで遊ぼう!	フィリピン2、日本2、中国3、 ペルー2、ロシア1、ボリビア1
8	1月31日	日本の小学校って、どんなところ?	フィリピン4、中国1、ペルー3、 ブラジル2、ボリビア1
9	2月23日	大学生と夢を話そう!<小学生親子>	フィリピン3、ペルー5、 ブラジル2、ボリビア2
10	3月20日	山羊と遊んで、お別れ会	日本3、中国3、 ペルー2、ブラジル1

参加人数(延べ):90組、202

日本の小学校って?





読み聞かせの大切さを！



リズム遊びと輪唱を！



野菜スタンプづくり



夢って？



お別れ交流会



記念にお花も植えて

スタッフの声

コロナの状況が続くのを予想して、サロンで初めてZOOMにチャレンジしました。最初は、慣れていなくて準備にとても手間取ったり、ぎこちない進捗になったりしました。特に最初のうちは、プログラムをこなすのに精いっぱい、参加者の話を聞きだせなかったり、その後の相談タイムに、につなげられなかったりもありました。回数を重ねるうちに慣れてきましたが、やはりリアルタイムで、目の前に参加者がいてくれる回は、やりやすかったと。一方、遠くの町からの参加があったり、実家に帰っている際にも参加があり、ZOOMの利点も感じる事もできました。特にZOOMでの読み聞かせなどは、とても良いと感じたので、これからもどんどん取り入れて、読み聞かせやコミュニケーションの大切さをママたちに、訴えていきたいです。

ママたちが楽しく交流しながら、子育てに必要な情報を伝えていく、とても必要な場だと感じています。

(シェイクハンズ 高木光子)

参加者の声

出かけなくてもいいので、良かったです。妻が仕事の時に参加できたり、妻の実家に行った時にも参加できて、子ども達もとても面白がっていました。

(ロシア アレックス)

会場に行けるときもありましたが、いけない時はZOOMで参加できたので、良かったです。ただ、他の人とほとんど話ができないので少しつまらなかったです。一緒に「かえるの歌」を歌ったり、本を読んでもらったのは、すごく良かったです。お母さんたちだけで、話をするのもあるといい。

(中国 張 えま・のぞみ)

	日時	内容	参加者(組)
1	1月24日(土)	親子でアルバムづくり	ブラジル5、 ペルー4、 フィリピン2

参加人数:計11組、17人



クイリングの手法で、親子でアルバムづくり



終了後は、子育ての話

スタッフの声

普段、学習支援している子どものママや、小学校入学を控えている子ども達との出会い、いい時間になりました。子育ての悩みやわからないところを、こんな風にサロンで自然に、話し合えたら、ママたちの不安も和らぐのでは？と、実感しました。これからも続けていきたいです

(一色コスモス学習サポートの会 平坂礼子)

参加者の声

お話ししながら、素敵なアルバムをつくりました。子どもと一緒にできてうれしいし、いろんな話が聞けるので、とても役に立ちます。きょうは、相談もしました。子どもが学校に行っても、ずっと、参加したい。

(ブラジル 宮地レイジ)

	実施日	実施内容	国別参加者親子数
1	7月25日(土) 10:00~12:00	Zoomで『絵本 タイム』 Zoomで 親子でお話会 「ルンルン手洗いタイム」	ペルー1組 モンゴル1組 日本2組
2	8月4日(火) 10:00~12:00	「親子で手あそび」 ルンルン手洗いタイム」 「外国の紙芝居の会」	ベトナム1組 ブラジル1組 ネパール1組 日本2組
3	8月11日(火) 10:00~12:00	「パキスタンってどんな国」 子育てママによる母国ウルドゥー語と 日本語による「パキスタン」の紹介。 「外国の紙芝居の会」パキスタンのお話 「ルンルン手洗いタイム」	ベトナム2組 パキスタン2組 モンゴル1組 日本人1組
4	8月22日(火) 10:00~12:00	絵本のお話会「Zoomで絵本タイム」 みんな大好き 3たろうシリーズ 絵本のお話会 「ルンルン手洗いタイム」	ペルー1組、 ブラジル1組、 モンゴル1組 ベトナム1組、日本2組
5	9月8日(火) 10:00~12:00	「みんな大好きピエロを作ろう」 「外国の紙芝居の会」 「ルンルン手洗いタイム」	ベトナム2組 モンゴル人親子1組 パキスタン親子1組 中国人親子1組
6	9月29日(火) 10:00~13:00	「ひとあし早い[七 五 三]」 コロナの早い終息を願って 近所の神社までみんなで散歩	日本2組 ベトナム2組 モンゴル1組 パキスタン1組

参加人数(延べ):33組



パキスタンのママたち



みんなで仲良く



ピエロを作ったよ!



初詣?



ZOOMで読み聞かせ



スタッフの 声

今回は、新型コロナウイルスの影響で、なかなか集まることが難しく zoom による「お話会」を取り入れました。子どもはじっと落ち着いて絵本に集中することができないこともありましたが、親が画面を見て子どもに語りかけるようにしました。親子のコミュニケーションづくりにもなり、親の日本語の学習にもなり効果があったと思います。

お天気の良い日に、コロナウイルス感染の終息を願って、ひとあし早い「七 五 三」に近所の神社まで散歩に行きました。久しぶりの外出に、みんなおはしゃぎですベーカーで信号を渡り、秋の草花を愛でほっとしたひと時でした。軽食タイムにもなくデザートや料理など持ちよりもない子育てサロンですが、普段は、子育てで精いっぱいママたちの一息つく場になったようです。今後も「WITH コロナ」で子育てサロンが楽しみです。

(ふくらの家 大塚ますみ)

参加者の 声

コロナでどこへも行けなくて、親子ともに、ストレスがたまっていました。うがいや手洗いをきちんと、教えてもらい、安心できました。

近くの公園も。みんなで行くことができました。うれしかったです。ずっと参加したいので、ずっとやってください。

にじいろ多文化子育てサロン 江南II (全6回)

	日時	内容	会場	国別参加者親子数
1	11月10日(火) 10:00~12:00	「公園に行こう」 近所の公園に出かけ広場であそぶ 「ルンルン手洗いタイム」	宮町公園	ベトナム1、 モンゴル1、 パキスタン2、 日本3
2	11月17日(火) 10:00~12:00	「親子で英語あそび」 ルンルン手洗いタイム」	多文化 プラザ	ベトナム1、 モンゴル1、 パキスタン2、日本3
3	11月24日(火) 10:00~12:00	「わたしの子育て 紹介します。」 オンライン高崎経済大学の学生と交流 日本の子育てと外国の子育ての違いと悩み	多文化 プラザ	ベトナム1、 モンゴル1、 パキスタン2、 ネパール1、日本3
4	11月28日(土) 10:00~12:00	「絵本タイム」 Zoom みんな大好き 絵本を読もう 「ルンルン手洗いタイム」	各家庭	ペルー2、 モンゴル1、 日本3
5	12月8日(火) 10:00~12:00	「クリスマスツリーを飾ろう」 親子で楽しくカラフルな飾りつけ…ワークタイム 「ルンルン手洗いタイム」	多文化 プラザ	ベトナム1、 モンゴル1、 パキスタン2、 ペルー1、日本3
6	1月14日(木) 10:00~12:00	「初もうでに行こう 左義長」 親子で左義長に参加し、 今年にかけの思いを語る 「ルンルン手洗いタイム」	古知野神社	ベトナム1、 中国1、 パキスタン2、 日本3

参加人数(延べ):42組

スタッフの 声

「ルンルン手洗いタイム」として 手洗い 消毒等に習慣付けするようにして活動の中心にしてきました。「公園に行こう」「初もうでに行こう」では、コロナでなかなか外出出来ない親子にとって久しぶりの外出となり、青空のもと精一杯のリラックスタイムとなったよう。「親子で英語あそび」「クリスマスツリーを飾ろう」では、親子の共同作業が見られ楽しいひと時となったようです。特にZoomでの「絵本タイム」は各家庭での視聴であり、友達を呼んできたり、兄弟で参加したりするなど幅が広がって、今後もずっと続けている活動になってきました。また今回は、外国人の子育てについてレポートしたい大学院生のインタビューがあり、オンラインで会話する機会があった。子育ての仕方はちがっても親子の絆はどの国にも共通だと共感しました。今後も子育てで精一杯のママたちの 一息つく場でありたいと願っています。

(ふくらの家 早瀬裕子)

参加者の 声

楽しかったです。また、絶対参加したい。私の子どもが、絵本タイムが大好きです。なかなか、読んであげることができないので、とてもうれしいです。本を読んであげる事は、とても大切と、教えてもらいました。

(モンゴルのママ)

	日時	内容	会場	参加者(組)
1	9月6日(日)	入学準備を始めよう!	可児市 多文化共生 センター・フレビア	ブラジル3、 フィリピン12、 ベトナム1、 日本1
2	10月18日(日)	食育講座「食べることを楽しもう!」	可児市 多文化共生 センター・フレビア	ブラジル3、 フィリピン4、 中国1
3	11月22日(日)	親子で 絵本をつくろう!	可児市 子育て健康プラザ	ブラジル1
4	1月16日(日)	入学準備ガイダンス	御嵩町役場 北庁舎	ブラジル2、 フィリピン1
5	1月31日(日)	入学準備ガイダンス (資料配布、ZOOM説明会)	可児市 多文化共生 センター・フレビア	ブラジル6、 フィリピン43 (資料配布のみ含む) 日本1



第1回入学準備を始めよう!



食べる事ことを楽しもう!



絵本づくり



御嵩町教育委員会と協働

スタッフの声

第1回：講師の先生と連携して、市内の保育園や認可外保育園、当協会の就学前指導教室や未就園児がいる家庭にアプローチし、多くの親子に参加してもらうことができた。また、外国人家庭の保護者に必ず知ってほしい就学時健康診断・物品購入・キッズクラブ申し込みなどの重要な活動や、入学までに必要な準備について、また保護者が不安になりやすい学校に入ってから生活について知ってもらう機会、入学準備をはじめきっかけをつくることができた。特に、はじめて子どもが小学校にあがるという家庭は保護者の方の不安や疑問がたくさんあるように感じた。質疑応答の時間を多く設けたことで、小さな疑問や質問にも答えることができた。

第2回： 彩りのよいお弁当づくりの工夫を紹介する際は、書画カメラ(実物投影機)を活用して、お弁当箱につめていく様子をライブ映像として見られるように工夫した。また、活用できる冷凍食品や講師が実演して完成したお弁当を会場内に展示したところ、講座中、多くの参加者が携帯で写真をとる様子が見られた。更に、お弁当を作る際の注意点について、初めて知ったという意見が多かったため、参加者にとって理解しやすい内容、有益な情報を提供できたように思う。

第3回：参加してくれた1組の親子には、本にふれることの大切さや母語の大切さについてしっかりと伝え、理解してもらうことができたと思う。また、導入部分の読み聞かせや手遊び、絵本づくりの作業などは親子でコミュニケーションをとりながら楽しんでもらうことができた。他の参加者を待つ時間は託児サポーターに活躍していただき、子どもが飽きないように活動していただいた。また、人数が少ないことが参加者の居心地の悪さにつながらないように、講師・サポーターとともにアットホームな雰囲気づくりを心がけ、絵本づくりはサポーターも作成してオリジナルのストーリーを発表した。全体的に温かい雰囲気ですべて実施できたと思う。

第4回：御嵩町教育委員会との共催で、町内に住む外国ルーツの年長児の家庭全てを対象にしたガイダンスを実施することができた。参加者数としては少ないが、行政との共催で、学校を巻き込んで実施できたことは大きな成果であると考えている。また、今年度の取り組みやこれまでの働きかけが実を結び、来年度はガイダンス時の通訳について町側で予算が組まれることとなった。少しずつでも必要性が認識され、ニーズに応えるための対応が進んでいくとよい。

課題：今年度は当協会による声かけで本ガイダンスが実現したが、来年度は御嵩町教育委員会の主導で実施されていくことを期待したい。

第5回：実際に現場で外国籍児童生徒の支援にあたっている主幹教諭の先生に講師としてご協力いただいたことで、小学校での生活や入学までに必要な準備について、よくある質問などをふまえて具体的な情報を伝えることができた。

課題：今年度の多文化子育てサロンの最終回として、ふさわしい内容になるよう準備を進めてきたが、岐阜県に緊急事態宣言が発令されたことに伴い、対面は中止とし、資料配布のみ行うことになった。初めて子どもが小学校入学となる家庭の保護者はわからないことも多いため、疑問や不安なことがあればいつでも相談を受けつけることも案内し、講師の先生にも協力をお願いするなどして対応した。来年度に向けて、中止になったときの代替案のバリエーションを増やし、様々なかたちで子育て支援の活動を展開できるように考えていきたい。

(可児市国際交流協会 戸塚まき)

多文化子育てにじいる親子サロン 2020 四日市市・鈴鹿市での開催

	日時	内容	会場	参加者(組)
1	11月14日(土)	小学校に入るまでに家庭ですべきこと	アクアレラ保育園	ブラジル9、ペルー2、日本3
2	12月12日(土)	日本の教育制度と教育費	アクアレラ保育園	ブラジル5
3	3月13日(土)	日本での進学・就職について	ZOOMにて	ブラジル4、日本2

小学校に入る迄に家庭ですべきこと



日本の教育制度と教育費



日本での進学・就職について



スタッフの声

第1回：公認心理士の米田奈緒子さんに、親子の心の育ち、愛着とは、親子のコミュニケーションが子どもの言語能力の発達に重要であることなどをスライドを使って、説明してもらいました。保護者だけでなく、保育園の職員、通訳として教育にかかる人も参加しました。

第2回：三重県の日本語指導が必要な中学生の高校進学率は約97%で、当たり前のことになっています。子どもとして日本に来た人が保護者になり、今の三重県の外国人の子ども達の教育環境を知り選択肢が広がっている事を喜び、羨ましいと思ったそうです。しかし、日本の教育制度と教育費の知識は少なく、基本的な理解を保護者だけでなく教育に携わる関係者にこそ、知ってもらう必要があると思いました。また外国語での学習教材や、わかりやすい教材に関する情報もないようで、教育に携わる人たちから、周りの人へ広がるように、皆で相談しました。得意分野を活かして活躍できる可能性が広がっていることを、より多くの外国人保護者に伝えたいと思います。

第3回：オンラインで、愛知・岐阜県からも参加。講師は、12歳で来日して大学に進学した宮野タイスさん。日本での進学、就職の経験を話して貰いました。経験者からの話は説得力があり、良く伝わったと思います。日本で子育てする外国人に、日本の教育制度や学費などを、子どもが小さいうちから知って貰い、準備してほしいと思います。そして、応援しようと思っている人たちがたくさんいることも、伝えていきたいです。

(愛伝舎：坂本久海子)

事業概要

主に外国人親子が抱える困難の解消を図り、日本の親子も含め、安定した子育ての実現のために。子ども・子育て支援団体が、互いの情報共有、ノウハウの学び合いの中で、より向上できるよう広域ネットワークの構築を目指し、外国人支援・日本語教育機関・子育て支援団体などが、定期的な情報交換や会議の機会を持つ。各団体は、地域課題や情報共有、事業のノウハウ共有等ができ、多文化背景にある親子・家庭へのサポートを強化できる。また会議のなかで、多文化子育てサロンの成果や課題検証もし、啓発活動等の企画案作成もする

ネットワーク会議メンバー

アドバイザー/米勢治子(東海日本語ネットワーク 副代表)
松本一子(愛知淑徳大学 非常勤講師)

犬山市

犬山市地域協働課
犬山市国際交流協会
犬山日本語教室
犬山市立羽黒小学校通訳
犬山市子育て相談員(元)
NPO法人犬山市民活動支援センターの会
託児グループてんとうむし
名古屋経済大学国際交流室
橋中ちびっこクラブ
NPO法人シェイクハンズ
楽田地区コミュニティ推進協議会

小牧市

一色コスモスサポート学習の会
NPO法人にわどりの会

江南市

江南市国際交流協会ふくらの家
江南市立宮田中学日本語担当教諭

大口町

日本語教室セレジャカフェ
サラダボールカンパニー
NPO法人子どもと文化の森

岐阜県

NPO法人可児市国際交流協会

三重県 鈴鹿市

NPO法人愛伝舎

昨年までのネットワークに加え、岐阜県可児市、三重県鈴鹿市の団体が加わり、緩やかに、より強くなやかなネットワークで、多文化背景にある親子・子育て中の家庭へのサポートを目指すことになりました。それによって、新たに可児市、御嵩町、四日市市、鈴鹿市での「多文化子育てサロン」の開催ができました!

今年度のネットワーク会議

※コロナ禍のため、全回オンライン(ZOOM)

回	日程	内容	備考
1	7月22日	今年度事業の説明会と、団体紹介	パワポ使用説明
2	9月14日	親子サロンの協働について。各団体の予定、事業アピール	可児、江南、小牧、鈴鹿で協働予定
3	11月16日	親子サロン、江南の報告 各団体の親子サロンの予定と内容(可児市、四日市市など) 協働研修について	江南協働延長、 可児取組・研修紹介、 啓発事業内容変更を検討
4	1月18日	協働研修会 「就学前に子どもにつけさせたい力」 報告意見交換、振り返り	内容の振り返り、 啓発事業について
5	2月22日	来年度の協働、ネットワークについて 協働研修について	次年度協働を確認、 第2回研修について
6	3月3日	今年度の振り返り、自団体の抱負など 次年度の事業についての説明	次年度の協働 取り組みについて

昨年度からのネットワークに加え、NPO法人可児市国際交流協会(岐阜県可児市)、NPO法人愛伝舎(三重県鈴鹿市)が新たにネットワークに加わった事で、広域での親子サロンの展開ができました。特に可児市の取り組みは、先進的なものがあり、各団体にとって学びが多く、ネットワークの効果が実感できました。ZOOMによる会議にも慣れ、より活発な議論ができた事が、サロンやほかの事業のスキルアップに繋がりました。

特に犬山市の担当課である地域協働課から毎回3名の担当者が参加され、行政との情報共有が一段と進み、他の委託事業や研修などにも、とても良い進捗が見られ、情報共有がいかに重要かが、とても理解できました。犬山市以外の行政にも参加してもらえるように、次年度交渉します。

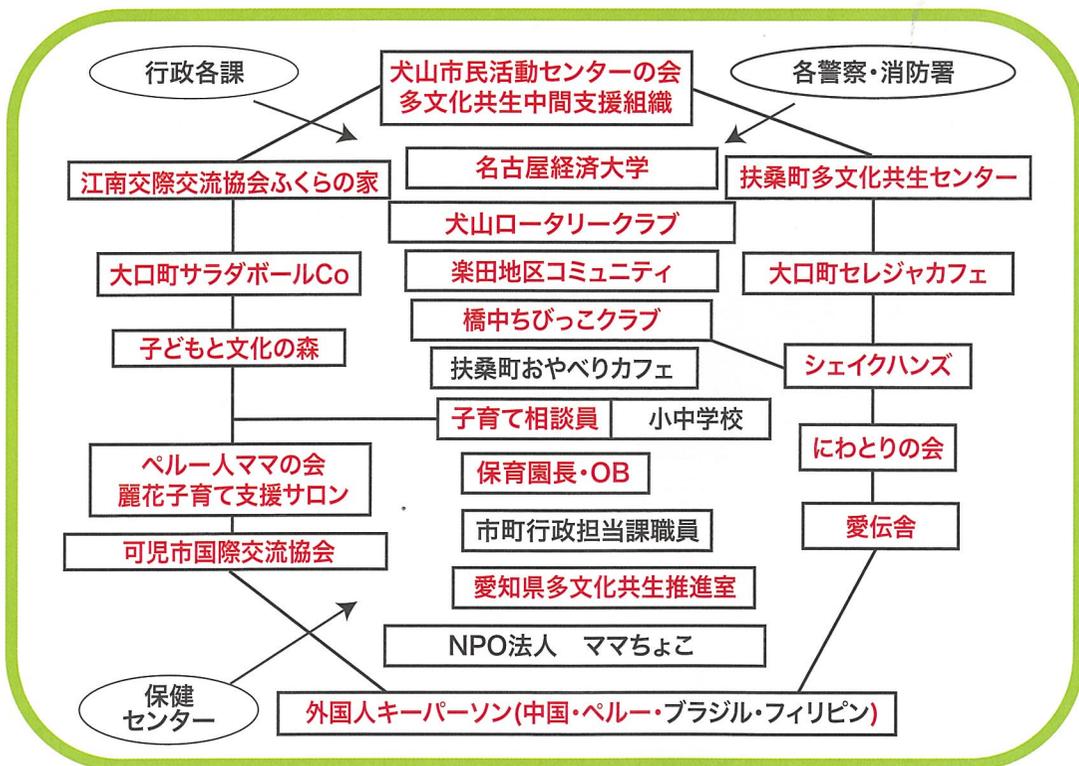
また大口町で、新たに子どもの学習支援が始まり、空白地域がひとつ埋められた事で、尾張北部の外国に繋がる子ども達への支援が大きく進みました。大口独自の取り組みでしたが、少なからず、このネットワークの影響でもある?と、自負しています。

今後、このネットワークにも加わって頂きます。

(シェイクハンズ 松本里美)



構築できたネットワーク団体（多文化共生 + 子育て支援）



※赤字の団体は、いままで、ネットワーク会議に出席だが、黒字の団体は、まだ、ネットワーク会議に不参加
 ※まだ、存在を知らない団体（特に子育て支援）を調査し、このネットワークに入って貰えるように、呼びかけをしたい。

柱立て 4 協働研修会「入学前の子どもにつけさせたい力」I、II 【変更後】

会場：寺子屋シェイクハンズ

	日時	内容	参加者
1	1月17日(日)	入学前の子どもにつけさせたい力 I 講師：公認臨床心理士 米田奈緒子氏 (一社：家庭教育研究センター)	ブラジル4、 ペルー1、中国1 (ZOOM) 日本11 (ZOOM3)
2	3月7日(日)	入学前の子どもにつけさせたい力 II 「発達検査を活用した子どもへの支援」 講師：公認臨床心理士 米田奈緒子氏	ペルー1 ブラジル1 日本15

当初は、多文化共生フォーラムの開催を予定していましたが、今年度からフォーラムが犬山市の委託となり、毎年継続開催できる見通しがつき、また、コロナ禍で会場使用の制約（参加者30人まで）もあり、以前から必要を感じていた指導者研修と、相談会に変更をしました。心理発達の観点から、親子のコミュニケーションが、言語の発達にいかにか大切であるかが、とても理解できた。指導者となって初めて聞くメンバーにとって、とても重要な研修となった。

スタッフの声

- 1回目：大きな会場でなかったのが、幸いなのか、質問が出やすい雰囲気、とても良かったと思う。一方で、対面参加の他、遠方の希望者のオンライン参加もあったが、会場の方からの質問が多く、なかなかオンライン参加者の質問が紹介できなかったのが、残念だった。
(シェイクハンズ 松本晃)
- 次年度就学児を持つママが相談ができ、安心した様子で帰ったのが、とても印象的でした。
(シェイクハンズ 齋藤輝幸)
- 2回目：支援者の参加がほとんどだった。支援者が、学校や日本語指導の場での接し方や利用できる教材などを知る事ができて、とても参考になった。
(シェイクハンズ 斎藤千春)

参加者の声

- 1回目：支援者と当事者と両方の立場があったので、支援者は当事者に遠慮して突っ込んだ質問ができず、また、説明もどっちつかずになる事もあるので、対象をどちらかに絞った研修にしても良いのでは？
(支援者側の参加者)
- 2回目：私たちの不安をととても良く聞いてくださり、ありがとうございます。こういう相談の場は、近くにあまりないので、すごく助かりました。
(年長児を持つブラジルのママ)





事業を終え、今後に向けて・・・

多文化子育て応援ネットワークづくり。本事業も無事に、2年目を終える事ができました。当初は、市町を超えて尾張北部地域の多文化背景にある子育て中の親子を応援するために、ネットワークを！から始めましたが、今や、県を超えて同じ目的を持つ団体ともつながり、親子サロンをそれぞれの地域で開催できるようになりました。さらにコロナ禍での新たな課題にも、互いに活動を止める事がないよう情報共有し、互いに知恵を絞り模索し、学び合う必要性もできました。そんな中、子ども支援の空白地域だった隣町に学習支援の場ができた事は、大きな喜びです。

犬山市では、毎年行ってきた「多文化共生フォーラム」が、今年度から市の委託事業となり、啓発事業（柱立て4）を協働研修会に変更しましたが、次年度からの新しいプログラムに繋がっていく道も見えてきました。

いっぽう、今後も続くコロナ禍での活動への工夫が、重要な課題ともなっています。団体間の情報とノウハウの共有が、充実した子育て支援を生み出し、更なる応援の為、次年度以降もネットワークの拡充に向けてまいりたいと思います。

今年度の成果物としては、リーフレット「日本社会で子育てをする外国人のみなさんへ」と、情報冊子「日本の学校へ行く子どもと保護者のかたへ」をそれぞれ多言語で発行しました。次年度からこれを教材として活用し、更に充実した活動ができる事を願います。

最後に、独立行政法人福祉医療機構の助成のもと、多様な困難を抱える子ども達や、外国に繋がる親子の応援のために、手をつないで下さった多くの団体、関係者の皆さんに、感謝いたします。

そしてまた今後も、継続に向けてのお力添えを よろしくお願い申し上げます。



令和3年3月末日
 特定非営利活動法人シェイクハンズ
 代表理事 松本里美

応援ネットワークづくり



NPO 法人 シェイクハンズ

0568-61-0971 (夜間:0568-39-5266)